名匠の技と粋を集めた六本の二層人形屋台
笛・太鼓・三味線が奏でる典雅な曳山囃子

5月3日は、越中八尾の曳山祭。江戸時代に富山藩の御納戸として栄華を極めた町人文化。この象徴である曳山神事は、今もなお伝承されています。

三味線、笛、太鼓の奏でる古式ゆかしい雅やかな曳山囃子につれて、凛々しい若者達が揃いの法被姿で曳く六本の曳山。夜ともなれば数千の灯がともる提灯山車となって、夜景に浮きあがるように照らされ、坂の町を曳き廻されます。その光景はあたかも不夜城のごとく豪華の一語につき、最高潮に達した祭は夜更けまで繰りひろげられます。

令和8年度 曳山運行予定

西上り

●曳廻し順位

① 東町 ▶ ② 今町 ▶ ③ 下新町 ▶ ④ 西町 ▶ ⑤ 上新町 ▶ ⑥ 諏訪町

●獅子舞奉納	午前8時00分	聞名寺前
●曳出し	午前9時30分	聞名寺
●提灯山曳出し	午後7時00分	新久婦須橋詰

※時間は変更する場合があります。

※駐車場は町民ひろばをご利用ください。
※祭礼当日は天候に関わらず、終日車両通行禁止です。
※角廻しの際に安全確保のため、お客さんの通行を制限することがあります。